



海の中道ゾーン

UMINONAKAMICHI

海の中道ゾーンの特長は、「日本の白砂青松100選」にも選ばれた美しい砂浜があることです。

潮の香りがする砂浜で、波の音を聞きながら、夕日の沈む博多湾を眺めていると、自然の癒し効果で元気になること間違いなし!

元気を分けてもらったら、お返しに、目についたゴミを拾って帰りましょうね。



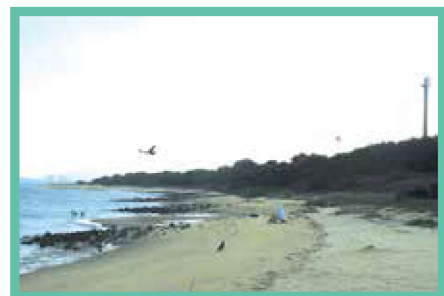
砂浜に親しむゾーン

【この地域への交通アクセス】

- 「海の中道海岸」へは
 - ・ JR香椎線「雁ノ巣」下車 徒歩約20分
- 「まみずピア(海の中道奈多海水淡化センター)」へは
 - ・ JR香椎線「雁ノ巣」下車 徒歩約30分
- 「雁の巣レクリエーションセンター」へは
 - ・ JR香椎線「雁ノ巣」下車 徒歩約7分



海の中道大橋とアイランドシティ



松原と砂浜が続く風景



海の中道大橋から和白干潟方面



アイランドシティから見た海の中道の海岸



1 海の中道海岸



海の中道海岸は、「日本の白砂青松100選」や「日本の渚100選」にも選ばれている、すばらしい風景の場所です。

貝がらを拾ってもよし、カニをみつけてもよし、きれいな花をさがしてもよし。寄せては返す、波の力が砂浜に描いた「さざ波模様」も見逃がさないでね!

砂浜にできた「さざ波模様」



砂浜に残る鳥の足跡



海辺に生える松



ハマゴウの青い花

2 まみずピア

ここは海水から真水を造る施設で、雨の少ないときでも、安定して真水を造ることができます。

1日に最大5万立方メートルの真水を造ることができ、海水淡水化施設としては、日本一の規模になります。

右下の写真は海水から真水だけを取り出す、高圧RO膜設備です。



※施設の見学には予約が必要です
TEL 092-608-6262



「まみずピア」施設全景



高圧RO膜設備

3 雁の巣レクリエーションセンター

雁の巣レクリエーションセンターは、健全なレクリエーション活動に寄与するために設置された、福岡市の施設です。

野球場14面、ソフトボール場5面、球技場6面、テニスコート4面、多目的グラウンド3面(内1面は屋根付き)のほか、遊具が設置された児童遊戯広場や、1周2.4kmのサイクリングコースもあり、レンタサイクルを利用することもできます。

天然芝グラウンドが広がる雁の巣球技場ではアビスパ福岡の練習が行われています。



雁の巣球技場

雁の巣の戦前戦後

「雁の巣飛行場」があった場所だよ

上に紹介した雁の巣レクリエーションセンターがあるところは、昔は飛行場でした。

1936年に開港した福岡第一飛行場(雁の巣飛行場)は、戦前の日本では最大の民間国際空港でした。戦後は米軍に接収され、1972年に返還されましたが、その後、飛行場として使われることはありませんでした。

写真の右側にある水上機滑走台の跡は現在も残っています。このほかにも博多湾には、リンドバーグ夫妻が来訪したことで知られる名島水上飛行場がありました。



雁の巣飛行場(1935~1940年頃)
(福岡市博物館所蔵)



戦後の航空写真(雁の巣飛行場)
国土地理院撮影の空中写真(1956年撮影)



名島水上飛行場(1930~1934年頃)
(福岡市博物館所蔵)